

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 推進協議会だより(10月号)

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動 (第4次期間)の下半期の取組がスタート！

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会(第4次期間第1回目)が平成27年9月18日に仙台第4合同庁舎で開催され、下半期の主な取組方針(10月～3月)が下記のとおり決定しました。

記

①ゼロ災運動推進協議会からのメッセージの配布(新規)

協議会事務局から毎月、災害防止に関するメッセージを協議会構成団体に発信し、構成団体を通じ事業者へ情報を発信します。

②建設工事における労働災害防止研修会の開催(東北地方整備局合同開催)

宮城労働局と東北地方整備局との合同で「建設工事における労働災害防止に関する説明会」を開催し、墜落・転落災害の防止を図ります。(12月4日開催)

③各構成団体による年末年始独自パトロールの実施

年末年始労働災害防止強化運動期間(12月～1月)において、協議会構成団体による独自パトロールの促進を図ります。

④公開局長合同安全パトロールの実施

年末年始労働災害防止強化運動期間中において、広く労働災害防止の促進を呼びかけるため、労働局長による公開合同パトロールを実施します。

⑤冬季転倒災害防止対策の推進(新規)

労働災害の約1/4を占める転倒災害について、特に転倒災害の多発する冬季期間を中心にリーフレット等により転倒災害防止を図ります。

⑥冬季交通労働災害防止対策の推進(新規)

冬季期間を中心にスリップ事故などの交通死亡災害が発生していることから、交通労働災害防止を図ります。

⑦見える化「安全プロジェクト」への参加・事例活用(新規)

経験が浅い労働者など建設現場に不慣れな作業者に対し、「見える化」を促進し労働災害防止を図ります。

⑧三大災害防止強化月間の取組(2月)

年度末に向けて、死亡災害に直結する三大災害防止の徹底を図ります。

ゼロ災運動の上半期の取組報告について

1 「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」が開催されました。

9月15日、仙台市青葉区旭ヶ丘の日立システムズホール仙台において、「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進大会」(主催:みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会)が開催されました。

大会は、東日本大震災発生から4年半が経過した中、建設業における労働災害ゼロに向けて意識の高揚を図り、早期復興に寄与することを目的として開催されたもので、県内で復旧・復興工事に携わる建設関係者467人が参加しました。

ご多忙の中、ご参加いただきました方々に改めて御礼申し上げます。



2 「レディースパトロール隊による建設現場パトロール」が行われました。

9月3日「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」の上半期の取組の一環として、労働災害の撲滅、女性の建設業界への進出及び職場環境の向上を目指したパトロールが、(株)ナカノフドー建設、「卸町コミュニテイプラザ(復興公営住宅複合ビル)新築工事」現場で行われました。公募した14名の女性職員によるパトロールが行われ、概ね好評のうちに終了しました。



「最近の動向」

① 足場関係の規則改正(平成27年7月1日施行)

足場に関する墜落防止措置などを定める労働安全衛生規則が改正され、足場からの墜落防止措置を強化されました。

厚生労働省ホームページ「足場からの墜落防止対策強化検索」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000081490.html>

② 「斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン」の策定について

(平成27年6月29日基安安発0629第1号)

<適用範囲>

中小規模(掘削高さが概ね1.5から10m)の斜面掘削工事における作業、手堀り又は機械掘りによる斜面の掘削作業、擁壁工事等に伴う床掘型枠の組立・解体等の作業等及びその施工管理

③ 『見える化』安全活動コンクールで事業場等の工夫事例を募集しています。

(特設ページ) <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>